

がん検診受診率向上等に向けた取り組みの
進捗状況について（概要）

※()内のページ数は資料 1-2 参照

<1 位 がんに関する正しい知識と理解> (P3~5)

【関係機関・団体】

- ・広報誌で乳がんを特集として掲載、検診の方法やがんの発見率等を紹介した。【日赤熊本健康管理センター】
- ・在宅医療推進フォーラムを開催し、在宅療養支援診療所の医師より基調講演、またパネルディスカッションにてがんの当事者からの発言を担ってもらった。【中央区内】

【行政】

- ・がん征圧月間に併せ、市役所 1 階ロビーでがん啓発のパネル展示を行い、受動喫煙防止啓発も加えて行った。【健康づくり推進課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

- ・健康講座などを開催しがんに関する知識の向上を図る【日赤熊本健康管理センター】

<2 位 効果的・効率的な広報> (P6~8)

【関係機関・団体】

- ・「健診・保健指導のガイドブック」を作成、社会保険新規加入事業所への説明会等で配布。(がん検診を含む生活習慣病予防健診の案内)【協会けんぽ】

【行政】

- ・10 月のがん征圧月間に合わせ、チラシやパネル等による広報を実施。校区の巡回健診の日程に合わせ、チラシを作成し、広報を行った。【東区保健子ども課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

- ・協会主催の集団健診実施時に、熊本市が実施する「郵送での大腸がん検診」の案内チラシを配布【協会けんぽ】
- ・イベント等の機会に健康大使にがん検診受診を呼びかけてもらう。【健康づくり推進課】
- ・まちづくりセンターと連携し、SNS 等を活用しがんに関する情報を提供する。【中央区保健子ども課】

<3 位 がん検診の受診方法の周知> (P9~11)

【関係機関・団体】

- ・主催のセミナーや研修会にて資料・リーフレットを配布。【熊本産業保健総合支援センター】
- ・まちづくり委員会や校区のイベントで周知を行った。【北区内】

【行政】

- 子育てサークルや高齢者サロン、民児協や各種校区単位のイベントといった集団の場や家

庭訪問、健康相談などの個別対応の機会を通して受診方法の周知を実施。【各区保健子ども課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

- ・設置者・園長（研修）会・教職員（研修大）会等での広報【熊本市私立幼稚園・認定子ども園協会】
- ・がん検診受診可能な医療機関の資料によりイベントブース等で呼びかけを行う。【南区内】

<4 位 気軽に受診できる環境づくり> (P12~13)

【関係機関・団体】

・がん検診の補助対象者ではない年齢の方にも希望する項目を受診していただけるよう単項目の検診（セレクト健診）を実施している。【日赤熊本健康管理センター】

【行政】

・松尾北校区松尾北コミセンにて実施(胃、大腸、前立腺がん（オプション)) H29.2.22
松尾東校区 2 町内公民館にて実施（肺、大腸、前立腺がん（オプション)) H29.2.23【西区保健子ども課】

・城南地区、富合校区、飽田地区、天明地区、力合校区、日吉東校区において、特定健診と同日にがん検診も実施。検診前に、近隣校区に積極的な受診勧奨を行った。【南区保健子ども課】

※他の区内においても、同様に特定健診とがん検診を同時に実施。(合計 16 箇所)

<平成 29 年度の取り組み予定>

・治療と仕事の両立支援に対する促進員が、事業主・労働者からの相談対応や事業場に訪問しての啓発・教育や支援を実施。【熊本産業保健総合支援センター】

<5 位 校区単位の健康まちづくりの展開> (P14~15)

【団体】

・「健康づくり」に関する研修会、イベントなどを開催し、「健康づくり」についての意識づけを行っている。【地域包括支援センター】

・各区で開催される区のイベントでパンフレット等の配布【8020 健康づくりの会】

【行政】

・健康まちづくりサポーター生に対してがん、がん検診等について啓発。校区単位の健康まちづくり活動の中でがん検診の広報を行った。【東区保健子ども課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

・健康まちづくり等校区活動で連携している医療機関に、がん検診受診率等の情報提供を

行い、受診勧奨の協力を依頼する。【南区保健子ども課】

<6位 職域及び保険者との連携> (P16)

【団体】

- ・ 県内各市町村の協力を得て、自治体主催の集団健診における協会けんぽ加入者の特定健診を受け入れていただいている。【協会けんぽ】
- ・ 労働安全衛生法に基き、事業主に対して健康診断実施についての行政指導を通年で実施しているほか、「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の周知も図っている。【労働基準監督署】

【行政】

- ・ 協会けんぽ・熊本県・熊本市との三者による定期的な情報共有会議を実施した。【健康づくり推進課】
- ・ 区内の企業に対し、がん検診受診勧奨のチラシを郵送した。【北区保健子ども課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

- ・ 多職種連携を深め、総合的に取り組む【市歯科医師会】

<7位 未受診者への受診勧奨> (P17~18)

【団体】

- ・ 熊本地震の影響で健康に不安を抱えている方や、健診未受診の方へ料金を抑えた特別コース「くまもと応援ドック」を実施。342名の受診があった。【日赤熊本健康管理センター】

【行政】

- ・ アンケート調査やがんクイズ等を通して、参加住民と情報交換を行いながら、住民の意識や行動実態を把握しながら啓発活動を実施した【西区保健子ども課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

- ・ クーポン利用目安を対象者の誕生日で分け、その時期が過ぎた者について、再受診勧奨はがきを送付する。【健康づくり推進課】

<8位 かかりつけ医をもつことの普及促進と連携> (P19~20)

【団体】

- ・ 人間ドックでは、保健指導・相談の際に受診者へは主治医（かかりつけ医）へ結果を見せていただくように説明を行っている。【日赤熊本健康管理センター】

【行政】

- ・ 出前講座によりかかりつけ医を持つことの普及促進を図った。【医療政策課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

・高齢者サロンの健康講話等で、かかりつけ医を持つことの必要性を保健子ども課が行った。【北区内】

・市薬剤師会に対して、市民への受診勧奨を依頼する。【健康づくり推進課】

<9位 若い世代への教育> (P21~22)

【団体】

・「健康づくり」の意識づけを、イベントを通じて実施している。(例) 子ども、親世代、高齢者、地域役員さんなどと一緒にウォーキング大会「江津湖歩いとランド」を開催し、その中で保健師さんの講話をしている。他の地域もウォーキング大会など実施している。

【地域包括支援センター連絡協議会】

【行政】

・若い世代を対象とした T1 フェスタにて子宮頸がん検診の啓発を行った。【健康づくり推進課】

・保健科学大学学園祭において 170 名に対し啓発を実施した。【北区保健子ども課】

<平成 29 年度の取り組み予定>

・大学生に向けた子宮頸がん検診の啓発を実施し、大学内での子宮頸がん集団検診の実施を検討する。【健康づくり推進課】

・「中央区からだいきいき健康フェスタ」で小学生の保護者を対象にがんの啓発を行う。【中央区保健子ども課】